



2021年3月15日

各位

会社名 株式会社 エアトリ
 代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕亮
 (コード番号: 6191 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕亮
 (TEL. 03-3431-6191)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年1月5日に公表した2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年9月期 通期 連結業績予想数値の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	1株当たり当期純 利益(円 銭)
前回発表予想(A)	24,300	449	389	275	13.47
今回修正予想(B)	24,300	1,000	940	561	27.09
増減額(B-A)	0	551	551	286	—
増減率(%)	0.0%	122.7%	141.6%	104.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	21,241	△8,994	△9,190	△8,692	△433.80

2. 修正の理由

当社では、エアトリグループの“リ・スタート”に向けたグループ内の事業ポートフォリオの分散および再構築の一環として、前期より取り組んできた各種施策およびコスト削減の成果が継続して実現されていることから、既存事業(エアトリ旅行事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、ITオフショア開発事業、ライフイノベーション事業、ヘルスケア事業および投資事業)が、引き続き好調に推移しております。

2021年9月期第1四半期の営業利益は763百万円となり、前回の発表予想を大きく上回る成果となりました。

その後、2021年1月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の発令等に伴う影響から、一部エアトリ旅行事業の落ち込みがありました。落ち込みは当初想定より少なく、足元は需要が回復傾向にあります。

また、昨期に比較してグループ内の事業ポートフォリオの分散および再構築が進んでおり、エアトリ旅行事業を他の事業がカバーし、グループ全体としてダウンサイドリスクを低減しています。

以上より、2021年9月期の通期の連結業績予想は、各段階損益が増加すると見込まれることから、前回公表した業績予想を上方修正いたしました。

なお、2021年2月24日に公表した「キャビン株式会社との業務提携、及び連結子会社の異動(株式譲渡)の基本合意に関するお知らせ」において開示したとおり、ナショナル流通産業株式会社が当社の連結子会社を外れる影響もあることから、売上収益については前回予想から変更しておりません。

(注) 上記業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定を行っており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。様々な要因には、今後の新型コロナウイルスの世界的な感染状況及びこれに対する政府等の対応により影響を受ける可能性があることが含まれます。

以上